



平成26年11月24日 臨時国会特別号

発行

木下智彦事務所

〒560-0021

大阪府豊中市本町1丁目5-8

高山第一ビル3階

Tel: 06-(6857)-1125 Fax: 06-(6857)-1126

Mail: kinoshita.tomohiko@gmail.com

HP: <https://kinoshita-tomohiko.net/>

■衆議院解散

11月21日、安倍総理は衆議院を解散しました。2012年の総選挙前、自民・公明・民主の3党によってなされたいわゆる「3党合意」では、消費増税と議員定数の削減を含む選挙制度改革をセットで行うこととなっていました。残念ながら2012年総選挙後、抜本的な選挙制度改革に国会で手が付けられることはありませんでした。

また、IR（統合型リゾート）推進法案を含め、2020年東京オリンピックに間に合わせなければならない重要な成長戦略について、賛否があるとも国会の場で議論すべきにもかかわらずほっぽらかしの状況でした。

■維新だからできる

私は民間投資を喚起する成長戦略というアベノミクス第三本目の矢の方向性には異論はありませんが、規制改革をはばむ業界団体支援など

既得権益にまみれた旧来の政党政治の体質に足を引っ張られ、徹底的な規制改革・地方分権がなされておらず、実感を伴う景気回復にはつながっていません。

成長戦略を謳ったいわゆる地方創生法や女性活躍法案等は、これによって具体的に世の中が急激に変化する施策にはなりにくい基本法の域に留まった内容と言わざるを得ず、労働者派遣法改正については法案内容が不十分でありむしろ規制強化にもつながりかねません。

さらには、全国農業協同組合中央会（全中）解体を目指した農業関連の改正法案や教育委員会制度解体を目指した地方教育行政法については既得権益層の力に屈したと言わざるを得ない中途半端な内容に押し戻される等、大きな既得権益層が背景にある自民党では改革を成し遂げるには限界があります。

そういったしがらみとは一切無縁の私たち維新の党だからこそ、規制改革・大阪都構想の実現を含む地方分権を大胆に推進していくことができます。

■大阪のために

約20年間のサラリーマン生活に終わりを告げ、大阪の経済復活のために政治の道に身を投じた2年前の気持ちを思い起こしながら、これからは大阪を変え、大阪が変われるように粉骨砕身取り組んでまいります。

2014年11月 木下 智彦

維新の党を代表し 予算委員会の質疑 に立ちました！！

10月30日（木）の衆議院予算委員会で、松野国会議員団会長・今井政調会長代理と共に維新の党を代表して質疑を行いました。

一連の「政治とカネ」をめぐる問題について、一般の皆様には理解しにくい公職選挙法の解釈を明らかにするべく実際の事例に基づく資料を用意して質疑に臨みましたが、「個人の誹謗中傷の恐れがある」という与党議員の不正を隠蔽したいという体質がありありと感じられる理由で、資料の提出が許されませんでした。



一連の不祥事、事案に対し「内閣総辞職・衆議院解散が念頭にあるのでは？」と安倍総理に質しましたが、「現在、全く考えていない」と答弁されました。

10月30日の予算委員会で
質疑に立つ木下智彦（左）

答弁する安倍総理大臣（下）



また、予算委員会ではあわせて、10月15日の内閣委員会・10月17日の経済産業委員会でも指摘したクールジャパン機構の投資先について質疑で取り上げました。

私はオタク文化というものを否定しているのではなく、作品の表現方法や価値観を一定のレベルで測りにくい分野に政府が機構を通じて15億円もの巨費を投じようとしていることに課題を感じて指摘しました。

今回、複数の大臣が表現に不快感を示す様なものを販売している企業プロジェクトを例示しましたが、当然、一般の商業ベースで販売されている行為は一部の人間がある程度の不快感を覚えるものであっても、きちんと合法であればそれ自体が問題となるものではありません。しかし、それに国民の税金が投入されることには様々な問題があると思うのです。

2012年12月初当選から2年 国会活動に精一杯がんばりました！！



2014年4月に本会議に登壇した時の写真

所属の経済産業委員会や内閣委員会の質疑は2年で40回以上（自民党議員は年1～2回）特に重要な案件を審議するNHKテレビ入りの予算委員会では2回、本会議の登壇の機会は2度もいただき、1期目の議員としては異例の抜擢・評価を受けました。

〈木下智彦プロフィール〉

昭和44年4月30日生まれ 45歳 昭和63年3月大阪府立北野高等学校卒業 平成6年3月慶應義塾大学商学部卒業 三井物産株式会社勤務を経て平成24年12月衆議院大阪府第8選挙区（豊中市）より立候補し小選挙区にて初当選 前衆議院内閣委員会理事・前経済産業委員会委員・党総務会財務局長・党国会対策副委員長
趣味 英会話・ラグビー・陶芸・マラソン
大阪府立北野高等学校3年時に、全国高校ラグビー大会に大阪府代表として出場
大阪マラソンに2年連続出場・完走